三書

遠
1646
1

諸國入船、歌扇、

夷翠末を刻て舟子共鼓末を
市ゆくて楫を似分やんらめそゝ
吾日のかハ元さゝ比天の盤紅小
ちまゝ代くのたゝ紅とかして波
ゝ姫孫の言のよきゝかとゝ色ゝし
位吉持ちそくまそ使とおゝしゝん

淹山墨の張り市人の彩高く
万客心乎入紅の嘶を聞くかはは
のよし芦分紅をいかに舟のいかとも
いりん半ばし称諸国入紅嘶とかつ市
雨の夜舟のはをしくの伽ともかをしい
と称ふのを

湖南　一葉子

時和五子年　きり秋

一葉

諸国入紅嘶考之一

同録

[illegible]

[illegible]

紅い白鼠の跡をてらす札
一会の縁さえ過金と金

[illegible]

人をそいはしてしまう

[illegible]

[illegible]

分冬郭公の歌の様絶ぬと人のいふ

つゆあらぬ武蔵の国の郭公
鳴聲はつうえつの方を啄山南

定めなき夫婦あるべきものこそ神を祈のふ言葉むつまじいやしく定めなきとて国
づし記録民ありくるが。すこしはそれを八幡
大菩薩と拾いづるが。武蔵の国の権現を出家し。これを
京りきこびて後世。ものしい国家の御をまも
むて。人のこゝろ小神仏をたのみまもりて。こゝろ
びるとすくなくなくしてかりけるこゝろおもひのこ
ちぶんと慈悲のんつく。然ればえて人のあるか
るべき事。おもきうけてそうるやうすんへ
又ぞひとりに人がらあるべからふ定

やうが、ものの、ようすを、ひとつ、ひとつ、ていねいに、
まねをして、ようすを、ながめて、やまひは、あやまる
が、のりうえの、やうに、ひとつ、ひとつ、けるが、二
こうは、ものを、ゆるして、やれば、ものを、こうふ
ぜんの、ようすに、ひとつも、やまひの、ようすも、
さらに、なく、ものの、ようすを、ながめて、ものを、ゆるす、人は、こうげうえの、ひ
てのこと、神のおしへに、まいりて、ものを、いかるべきに、
ぜひ、しらず、いつも、我ままを、ふるまふ、ぜ
のうえに、ものを、ふこうを、はらこびの、ひは、
いつも、湯ものの、せうにも、ものを、ふこの
人ふとんの、ひする、人、神、ごうつぶも、あるべ

く、慎しんで、ものを、さだめて、ものを、ゆるして、
まことに、なりて、あれば、ものの、ひとり、ひとり、神一年、ひとり
も、安めの、きがの、ものに、神、ものを、ゆるして、ものを、ものを、人
よ、ひとつの、ものを、ものを、ものを、ものを、ものを、ものを、ものを、
しいて、もいて、ものを、ものを、ものを、ものを、ものを、ものを、ものを、
して、ものを、ものを、ものを、ものを、ものを、ものを、ものを、ものを、
ぬ、ひと、ものを、ものを、ものを、ものを、ものを、ものを、ものを、ものを、
もの、ものを、ものを、ものを、ものを、ものを、ものを、ものを、ものを、
安、ものを、ものを、ものを、ものを、ものを、ものを、ものを、ものを、
まの、ものを、ものを、ものを、ものを、ものを、ものを、ものを、ものを、
を、ものを、ものを、ものを、ものを、ものを、ものを、ものを、ものを、

この屋のぬし。ちゝはゝごとを我らとひとつのいへにかれば。
物のあくまをくるる物もなく。夏よりして秋さきこゝろをこ
らべ。こゝろあつまるさき春陽あるほどより二ツく方を
こゝろざすかたちつゝこゝろ物をかくへゆづる。
ちんぐして明るまゝけの人びとをつゝそだてんぐく
なびとゝあくべのちうけるおを祈きめをつくる物
おもてぶるあいもつれきをゆづるぞう。ゆるくゆる
うせこゝろひろくしくすることをおもれどもとく
けくんしてみるいとくの傍ぶづくこゝをとくまとれ
ぬ。空ウちゝのごとくしやりをこゝはさしずく
ちまこうけて。あけくまちんぐとつくるさる

ごとは空のしくちゝやうとゝ物ちがぢんよゆく
ものうりうれがつまらぎをつんこゝ百ちゝを
ひくをて。稲年（つうとわ）すかり空のしこゞをとび
ようけつて。小取（セ）こゝをすこゝてふて
ひくゝみつる沈ぶ。ずでこゝる目のつりあおよぶりこゝをうう
ぬこゝのりまづうよ沼（さぶ）こゝのがこゝて。蓄（れ）ぬるハ
蓋（ふた）をまて。れ動（まい）りのめ（とおをんど。くゝ糸（ふる）る乃
をぶうりもちゝえ人げ。ものあれ山こゝをんぶうく
あゆひとも。光ゝの百ゝゆふんふうく。ちゝびこゝが
みをひつまこゝおりこゝちくれを。塗中（まぬい）といこゝおまた
ぶりたくゝと云こゝく。ちやゝき山人（やまびと）の家をかりて

一ぬとあらさんとて。みやづかいまことふかのさまくあ
らしなるすあひのぶなく。猶乃屋ぞてもなく。ぶかりう
ぶかりを見ぬそこして。あらぬとまたに移るを。
るべし。月を隔てくちなびひとりんをうねるあるす
ちりは。又こ神もちしくあひてあるふ
和歌のちろいをいろ乃八をあるそいりこさてる人
ありぶのうあるあるそやげよ知げぐちなるおのこなるじ
やくひるつまとと二人ひつをおりのがりまるあるず。この
ひるをやぞすちるあとんてんやとげよ知いつをの
ぐいかんぶんよるそなりてちさぐんぶりうを
なぐうして和ちくらまそあるそばけしさおれぐさぶ

ちちいまくあるとあるふけしていたるぶをはの
ておかのあるなるあるの家のちふ。鶯花ありあるあるは
ひをはぐてちいちさぬのこ夜根ひとりを傍て寝
さをひさるおにぐよ移つまぬ宿ハ月のあるぬよ。あるてあ人
のあるおるをはぐるぐたるとあるるとよ。よくかけても移
ぐて。暮ぬこせちあるとりとあるて出んこするはさて見をのあ
ちれををちりとあるて出んこするはさて見をのあ
ちれこてつちるよ。世間我ちくる家のちをあるりこ
をくちはあるるをせちうぐ。ぬるすみよ月はちぐあ。なく
あるすをちあるぐひあるるあるぐあるく我移るる歌ぬのうん
ひをいをとあるりあるりへ絶をつけて鶯まるてくをはを

[illegible]

[illegible]

[illegible]

まちぐ人ごろあてあのまちーをえつけてまぐるものりあひ
乃門をとめもせよ。一人いのちはまそ見へぐおりくれものく
ちいをたをけ。そそ〻ぐ多いの乃ぐひを縒じのみよびてあり。
ちぐしこ絡いひとみまする絡といふものくをえ
いまたる形りまるふちとも縒うをも見いまられま
まうん。まを絡ものも海まをびみまるもぐ。まをあるゆ
わくをまるず。まりをのゆくをまりの人をまりまぐ
おのくまぐうけても。あづまをまを正乃絡乳。又
いあみざまるぐけ。まをまうを海みうを先まの絡
のの人〻絡ものうあつる物い。あみまうぐまをも
まをづひみしぐまをまをあいづまをて実信まをまと

祝んごろよかるまるふ。のりあいつる男女ことぐくを。
おのくあとあをの人あをまを絡をまをぐまをまをしまひまるあを
をふぐりてたまをひみをまをまをあをんとんをくをたぐ
をのをもいをぐりをる。さを絡ぐらみをのの用よばのを
をんざをのをのみをてをちごのをる用をぐまをしふをまを
用おおのをいぐををんぐまうをまをまをぐまを絡の絡を
まりりまさん。一数多をまをまをまをまをまをまをまを
ぐをのをいぐをるくいをまをまをまをまをまをまをまを
ぐまをまをんをのをうをるふくまをぐまをのをくまをの
うまをまをるをまをまをまをまをまをまをまをまをまを
りまをあふまをひ。一まをんのまをまをまをまをまをまを

ぢうをみるあづまぢうしぼりふあづまうんぬ。ものそれいつどや
あつみの湯あたりとなりしてうでうるうさ
ぬとうえんまじうものそこやくうらんぢうへまるどうあづまうん。
ぢいうをうあたりまうの風。ものそれとうもをこの
やくうくどうまうんてをを汗あづひをえて。湯のおりてよ
うのりうど。ぢ一ぢうようどうあづそうとうもくうと。えとうえあば
ぬあづうさ。まるあうふうるうものをうるあうるふいづるどうと
てりをへるくうあづうひうそ。風ようあるを。湯るゆくう
おうさのうくへるづれゆく。やうくへうどうるようなりてうふ
てうぬ。ぢぬやうとうをひうり。ぬうるの場傍より俵物ぢうど
るうるうくへ。平ぬといふうるものとうで二人ようりぬどうち

ち平四ろう方にうりて、ぜつうあるさうもやありうん。ぞ
ちりごみして、新兵衛より、朋元くさ人の嫁がでうりさ
ありよいして、我がうんいえもてるやうまりてありねて
ると、宮めう平四をすうそでいまいのこうて、半蔵と我
のみいざやんくまちうみをこびわ、れ中四人く
ま安続のあをしをちをしを西いうやんぞさえ五へう
ちふけ五をしてるんいれうて内ようさうありぬる
うんぞうんくうをすてうんをなをけ。片ぽもふを
をやることそうけまとすうられいまいうんどぞさう
もあくまこぞうすべきにぬでもあそれぞふをそぐ
まうちけぐり。宮めうと一ぞうくうがみをひうげ。

みみのうんをすうりうつうをすよ平四ぬがうりうつうを
ぐうん宮めうが紙の老うてぞんをびうをいうぞ
ひうまをて宮めうが郷ををぐしまひをもうをそ
ありそる。さわどせうびをなる物をて宮めうが紙
ぞあるまををどうのうをありをぞふをのの内
のをのどもををうんさをくいうをうぬをのうふけ
二ようをいうみの内さをんいをねうをの紙をうみを
やうびを宮めうをの老をうをうをびうをうをいうを平
をひうをうえ羽をを内をうをいうをうのいをうを
く外人の紙をあうぞ。我うみのうをうをうがをうを
めうを北をうをうを人をゆうをうをてうみを紙をあうをを

くくこそうらやましけれ。あるいふえいまゝに和まるあり
ごとに。さんぐるのゝたれぞ。定めをそなたのりあひ
の男女。和合まで。のこりなくはんぐたのの
本作よりぐりて。さらるるまゝとあるまゝ。
ゝくかゝるものゝ。ゝとも。和合ものゝ。ゝとも。
つゝよりゝ。ゝいぐゝ。ゝゝ。ゝゝ。ゝゝ。
ゝゝゝ。ゝゝ。ゝゝ。ゝゝ。ゝゝ。ゝゝ。
ぜんのゝゝ。ゝゝ。ゝゝ。ゝゝ。ゝゝ。ゝゝ。
ゝゝゝゝ。ゝゝ。ゝゝ。ゝゝ。ゝゝ。ゝゝ。
ゝゝゝ。ゝゝ。ゝゝ。ゝゝ。ゝゝ。ゝゝ。
くゝゝゝゝ。ゝゝ。ゝゝ。ゝゝ。ゝゝ。ゝゝ。

一楽して。ゝゝゝゝ

八海（ごんかと入でこれ乃人こゞのとなりよをるぼことい社
平の伝説のつんのまこゝあるまてまてうこゞ。ゆ神をるの
ゆへかゝくてうこゞ出つ。新平よりありのまこのごとをぞうの
とびのゆをを動くくこのみ。天狗乃ひこうこゞおさまさ
ちがんと定めらゞあるやうさいのちくゆまり。きひと
つをたとうんくちよ。どもなりさこのいのちをこう
んとかしよこうこゞ海をふくみ。新まこ平海ゞふゞさ
よこうこゞを見いまこて海へうくるふくゞうれとをお
をひくるあけまつの名をよ。方ぶるひくて。ゆこ神
あひくるも。ことこうこゞあり。
新乃乃乃

ようとうの船屋をさいごまでとりまき
たのびがごの船くあいをりゆくさき幸ゆくそこをいつさ
年あごをしひていくさのびいくさのびをとりさいごをりいく
やうあをなるゆちこたのびをとりくすまをごらてたのび
あゆをていくさ不徹の船あり。えたのびてうつたり図
よいりそをりてをいて紙とあびやうそのをこをを
うつあをりて利伝ば。又いかをまをを海中ををさいを。
おくくを敗失し。風のごとくをとりてあゆひをあり。
牙をを乗地をゆをしいまて海賊を一戦の内ををとし
るおどのるおくくをををんだりくいでとゆをくく
ありがしもずいびんをんきんをれびいつ

くまでもきものひいらぎ[illegible]きものけいるもの[illegible]きふて
はのようにさいるもさいびさ[illegible]ぐりの雲をなりてうてさき
のいをまよのんし。寡をとりて多の指の指をんらよ
嫌なおぐこそ。くくよ[illegible]毎さ力[illegible]ぐいとをと
いよ。振手ことていをを方をえらるものびいすらやさう
おぐくんをよおいたものいやとあぐける皮手まるわよ
なうて。秘振手。ひとと人をのかをらぬものぐ報
きのびよおあていおそくく芸術をはうちれども
義をおときりくりとぐまよ人よくりうまやし
をりきてんをんハまこのきのびよあらぐ。これひ
えよ[illegible]をもてあるびまるんさまぐつまよ

のをんるを。ほさうれ用よをて去のぶとうくぐろ
のをぐひあるをいて。中一よ人のんをとぐひゆぐんを
うおふく。こを知くく高揚すこーげの技術てうく
腺をたのみのひつるあひうの去のび三人のの技術
のまを開が極をーれ。ををつをよあいもんりをを
んをとおく切りあるあるぐ。ゆををあるをぐ出し
思をりををおびいよ知をものぐみの人あるをとをのあう
をあるうてをんせんと。をひんのまぐれはひつのまでい
いぐよりて振手さをを一ひのぐみあり。をひ身
よおめて。なりぐまをををつぐハをんすぐをひ乃
ををんをうんぐくゆをぐをのやをを角いうぐりゆ

いひ[illegible]ひよのつ[illegible]ぐのよあらばいつら
[illegible]を[illegible]見[illegible]抜し。まん[illegible]まつけて[illegible]
[illegible]をして[illegible]ると。[illegible]て。[illegible]を[illegible]
の角[illegible]ぐ[illegible]ぐりて[illegible]
[illegible]ぐ[illegible]ぐ[illegible]
[illegible]ぐ[illegible]ぐ[illegible]
[illegible]ぐ[illegible]ぐ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

てゝのゆんぢうに銀そのまゝ
もちらひとるとゝ申ぢうに
ゆりくすんぢやり初めくれ
ゝ申ぢやりまゝ定めくるとゝ
ゝ申ぢやりまゝ定めくるとゝ
こゝいうまゝこゝだてまゝ
ゝのまゝこゝりゝのまゝこゝ
ゝのまゝこゝりゝのまゝこゝ
ゝのまゝこゝりゝのまゝこ

そびのかつぶかいのそをあすまりぐたいさぐは
ものごとれあすかまちをもちいさびをりぐりの
いのちあるべ。そしをいとしてめちかるまるぐ。
かとぐはさびのかくちいさびくのぐて。ミとあく
きかりまとぐ。あんぜいのよりてかいてできるが。46
ミりくん二まいの四。一まいのまきり風よそしもて。
ろしのそかくよふきもり書のそのひりえてをた
ぐとぐん乃ぐいまよ功ちりくまたるが。功りかが
いおとりくるたぐかりたわぐ。めりくとやはそ
くいとかりね。定めくとれもそいよくくまとぐん
いいぐ。あくとのぐくちるのそいの

ちなくくんりとあくそひまりかり
らげしかりかくまるのりり定めりぐ食を
くもぐくんとすくるりあるりまぐ。りかす鷲いくくも
なくくそびくくり。ぐ春のくちまそかるひりて
ひあくくかくをぐくくいりよちまぐて。一つや
二つ。ちをかとをど。あかひりぐりてつくくあつる。
あくくあるよそぐくりなくぐとちぐゆくんの乃
くくまかりぐ。ちすくまくくかりてくの人
のかくくよ羽とやとくんまりぬりぐりひくち
くくくなりて。を人はのぐかのかくふいりくり。
定めくくかぐひくるかいくす功をぐ海

つるよりいづるの神をうちとめいづるのほとりけをうの
ごとくつまぐすてゆかんとすれどいとそ
ゝ結び結ぶの糸。みをとりなをしてういづるの
うみかけとんぐてんくもぐ人のやうにいをうの
ゆりんぐみそこのーさてい だ白んまいの井一ぐんかれ
ぐこ底のごんぐんをなげむこのやうにまこと
ゆぐつるるゆるぐとる。さていくんのまをうを
さぐるまりーゆ。ゆやもとこてゆいうちゆうちき
ゆうるるよゆうるゆしゆりてをうるゆ紙んゆ
ゆうるーて。ゆやもるいまぐいるぐてぐるをぐゆぐ
ゆうるの井うるーゆうるーぐるいけるびのうる

こんなくまうるうりゆうをけるをぐすいうるんぐてゆうるゆぐ。
ゆうてまうるゆうるゆ指りてゆうるゆるゆのまうるくそ
ゆうるいうるゆぐべーるゆーゆゆゆ赤ゆるゆるゆぐうるゆ
つうるるうるゆ井ぐうるくゆ白ひのゆぐうるくゆのゆうるる。
完ゆ一ゆんゆくゆ白るるるるゆのゆるゆるゆを指るゆ白ゆ
けゆるゆるる安ゆ。ゆるゆるゆるゆゆ相ゆゆーゆるゆるゆ
うるるゆ赤ゆるゆるゆるゆるゆるゆるゆるゆるゆるゆるゆ
るるゆゆ。ゆゆるゆるゆるゆるゆるゆるゆるゆるゆるゆ
つるゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆ
ゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆ
ゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆ
ゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆ

[illegible]

諸國人物弘嘲書終